

当院でのカフ型カテーテル 看護からACP看護まで - 心と信 -

医療法人 心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科

●堀川恵 藤井亜美 坂さとみ 米田奈美江

安藤高志 安田透 池田潔



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

第30回
日本透析アクセス医学会学術集会・総会
COI開示

筆頭発表者名：堀川 恵

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

本日の内容

0 1 .
はじめに

0 2 .
当院の紹介とTCC治療実績

0 3 .
カフ型カテーテルケアの実際
※以下TCCと略す

0 4 .
透析看護におけるACPと事例

0 1.
はじめに

『末期腎不全患者の治療上の人生設計に関する透析アクセス・ニーズ（ESRD Life-Plan）の重要性を認識し、ESRD Life-Plan に基づいた治療計画を立案すること』

患者一人一人の人生設計・生活背景・価値観に合わせたアクセス計画の策定が最優先されるようになった。

従来の概念

かつてのTCCは「他に選択肢がない場合の最終手段」としてネガティブに捉えられがちだった。

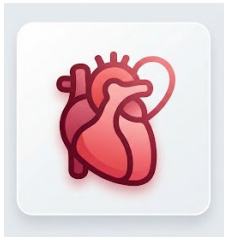


新しい位置づけ：正当なVA選択肢

TCCは、AVFやAVGと同等の正当なアクセスとして再評価され、患者の人生を支える重要な手段となった。

TCCを選択する背景

我が国の慢性透析患者は33万7414人、自己血管シャント（約85%～90%）、人工血管内シャント（約5～10%）が選択される中、約1～2%の人がカフ型カテーテルを選択せざるを得ない様々な背景が存在する。
（2024年末時点）



高度心不全



移植待機



血管荒廃



AVアクセス使用でQOLが厳しく制限されるであろう患者

0 2. 当院の紹介とアクセス実績

診療体制



腎代替療法



通院

105名

そのうちTCC
患者 **6名**



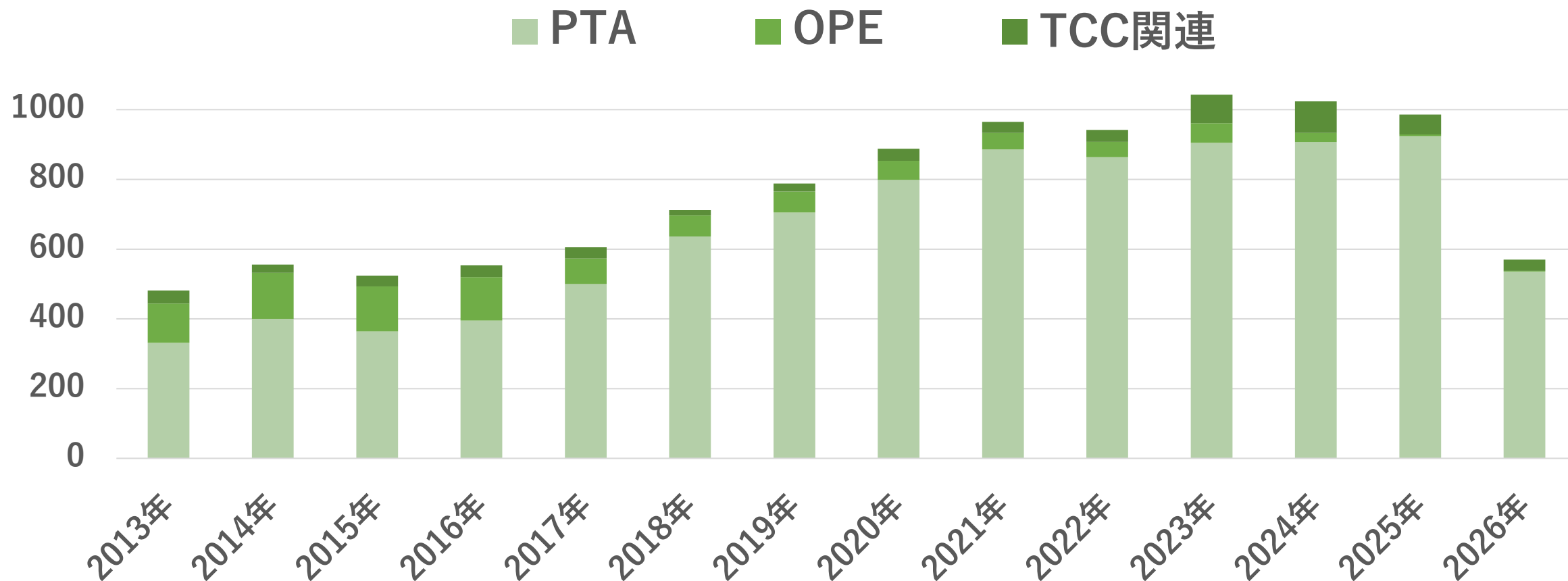
在宅

10名

そのうちTCC
患者 **4名**

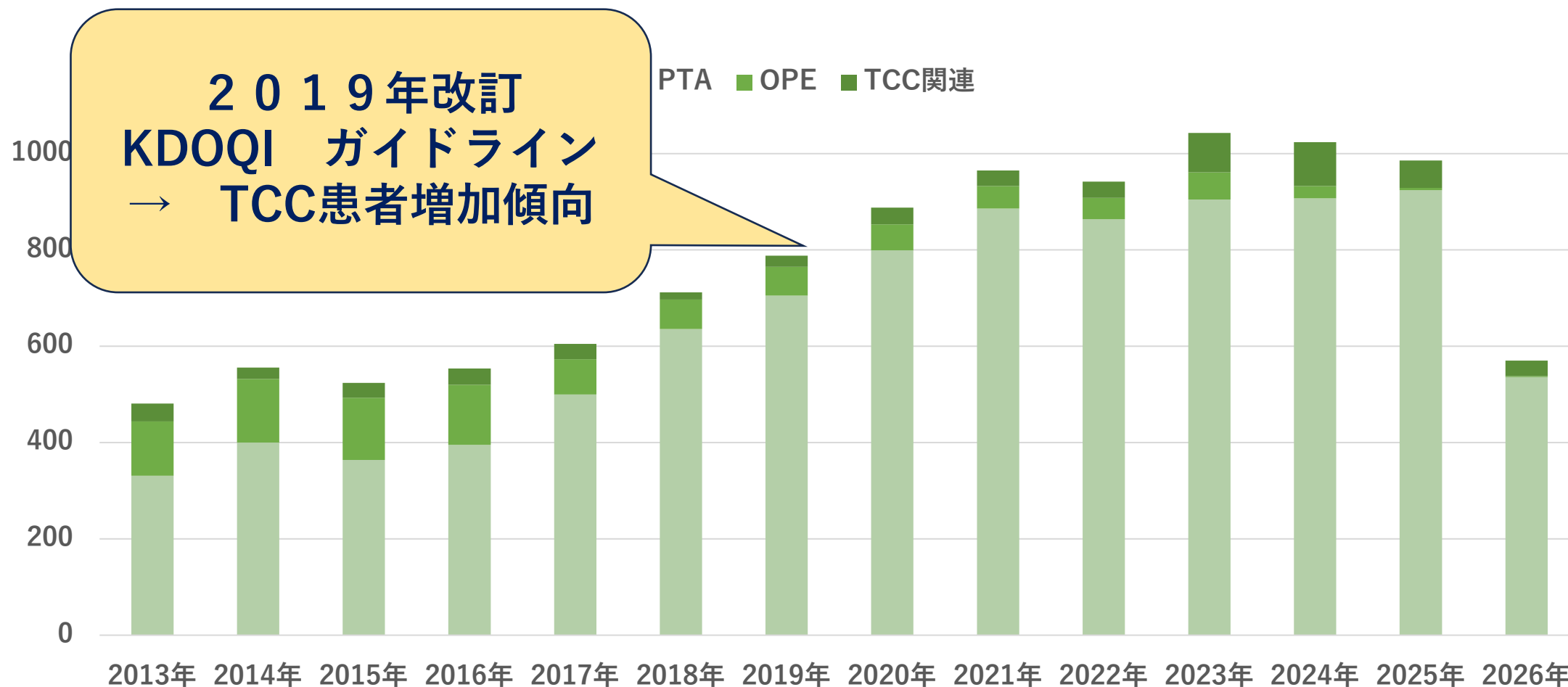
OPE・PTA・TCC関連手術の件数

2026年8月末時点



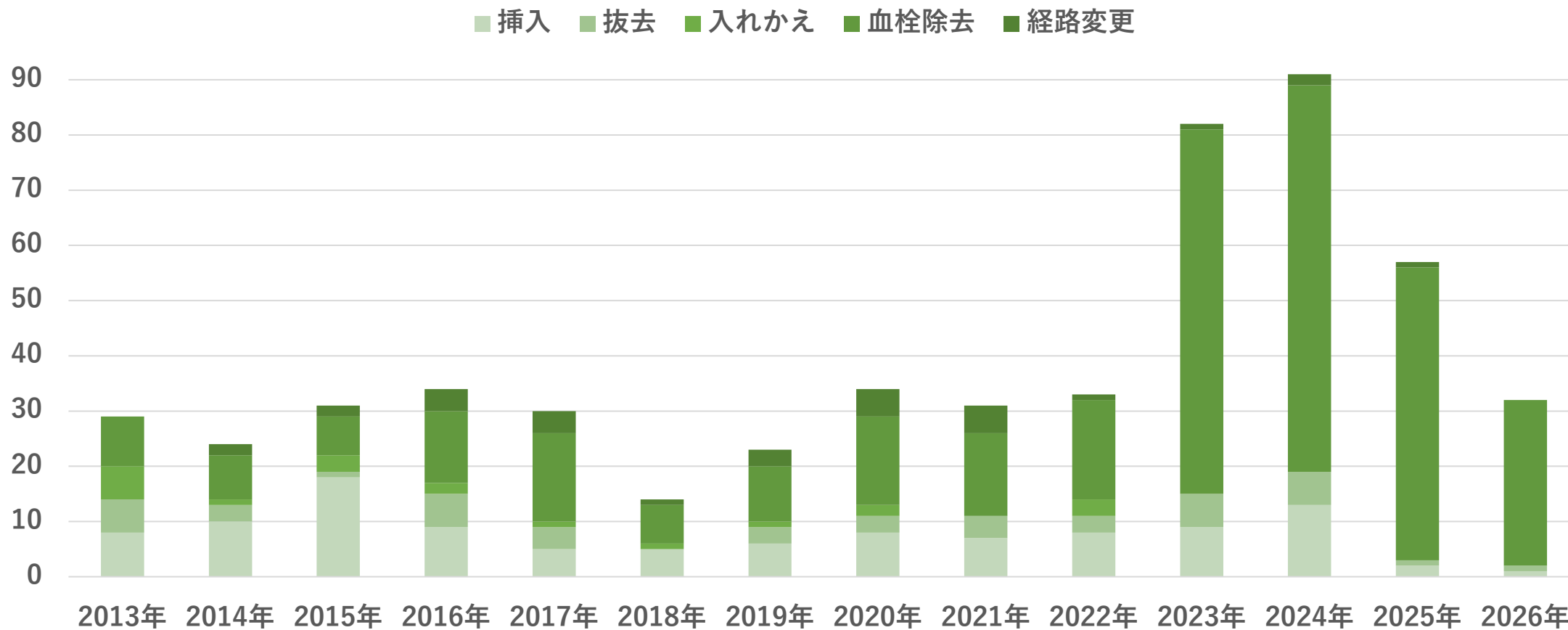
OPE・PTA・TCC関連手術の件数

2026年8月末時点



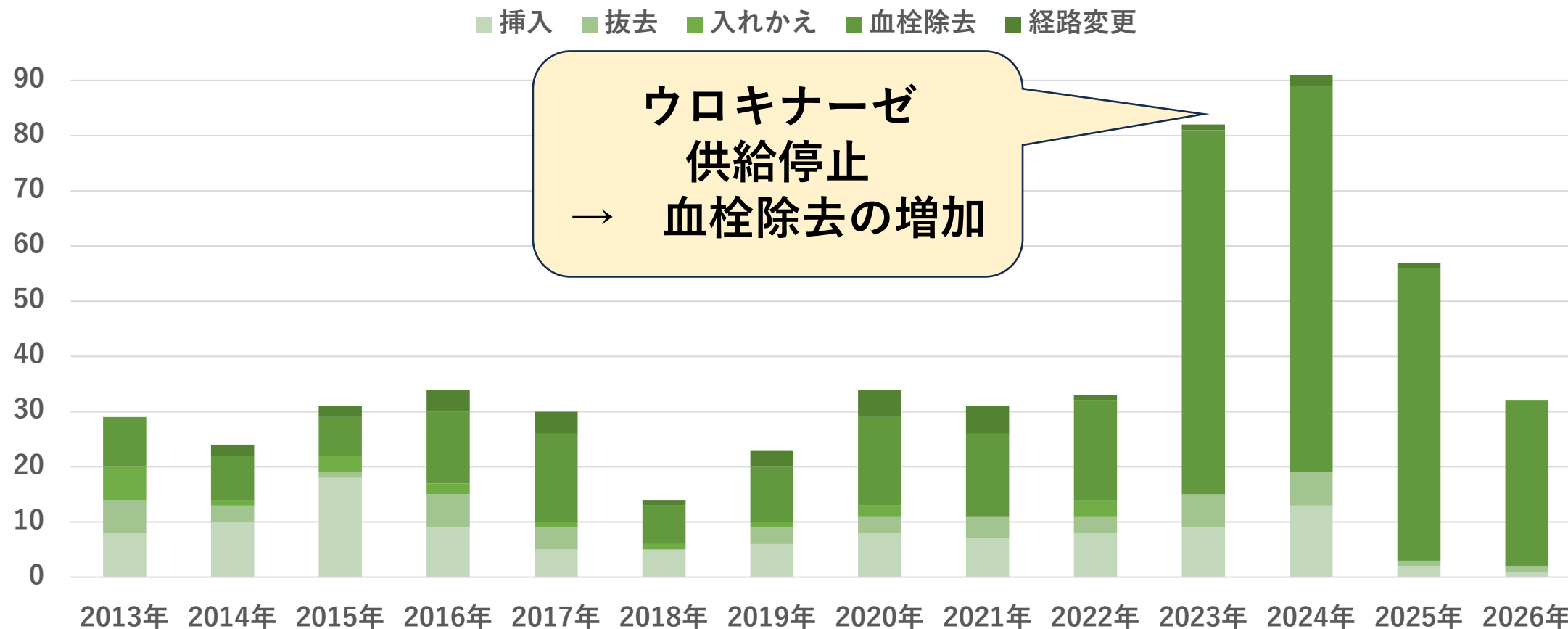
TCC関連手術の内訳

2026年8月末時点



TCC関連手術の内訳

2026年8月末時点



03.

TCCケアの実際

当院のTCCマニュアル

※当院ホームページに掲載

透析用 カテーテル管理

VERSION 7



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

透析用 カテーテル管理 患者様用

VERSION 2



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

TCCケアの極意①：ポンピングの重要性と血栓予防

1. 血栓の確実な吸引除去

ロック付きシリンジでカテーテル内の血栓を吸引除去する。

2. 20mlロック付きシリンジによるポンピング

クランプ開放後、勢いよく10～20回
(10～15ml) ポンピング
脱血・返血状態を手技者の感触で確認。

3. 過剰除水の回避

血管の虚脱を防ぎ、カテーテルの脱血不良を未然に防ぐ

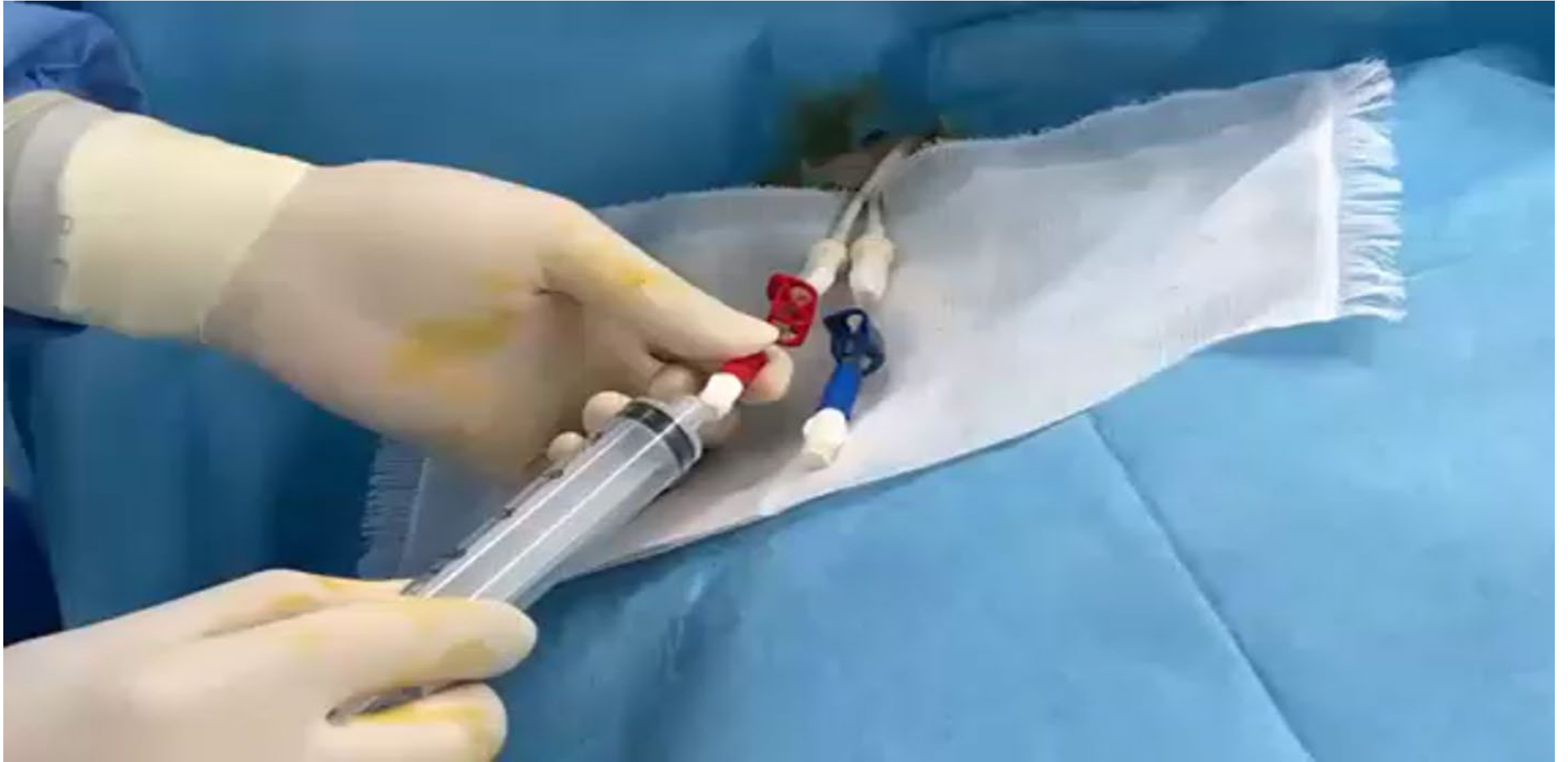
KeyPoint：

なぜ20mlシリンジ
なのか？

手技者が
「わずかな異常・
抵抗」
を感知しやすい

2.5ml等の小容量シリンジでは、カテーテル内圧変化や内腔狭窄の微小な抵抗を感じにくい

TCCケアの極意①



TCCケアの極意②

汚れの除去、消毒・スキンケアが出口部感染予防に繋がる

1. テープ糊・皮脂除去、消毒の徹底

接続部や皮膚に付着したテープ糊・血液・皮脂をアルコール綿や綿棒で清拭除去。細菌の温床を排除。

2. スキンケア

かぶれ防止、皮膚バリア機能維持のためにピュアバリアや皮膚撥水クリーム等を塗布。出口部皮下トンネル感染を徹底予防。

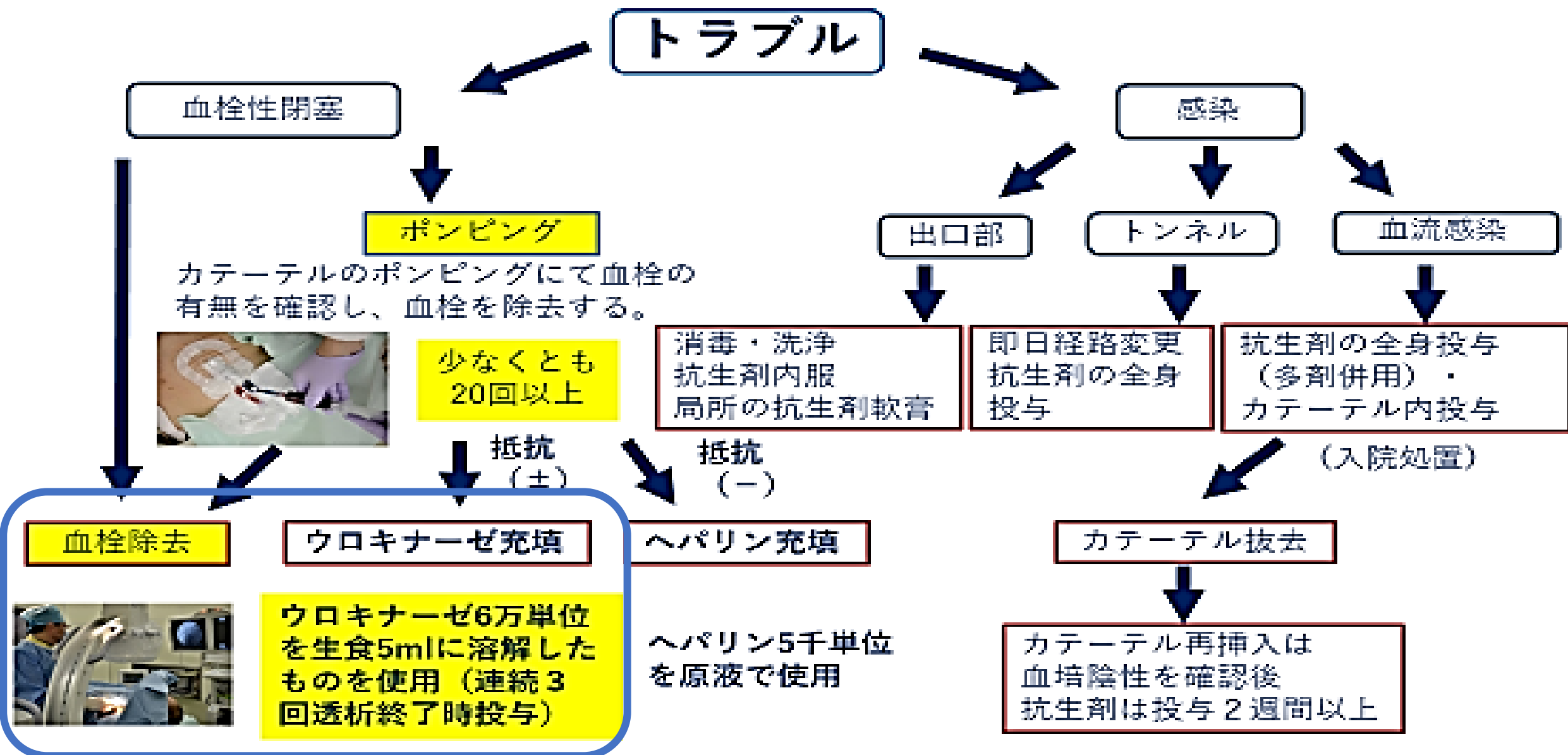
3. 患者・家族への教育

日常的な観察、注意点を指導し、風邪や下痢症状、発熱や局所発赤などの変化時に早期連絡、対応できる体制を構築。

TCCケアの極意②



当院のトラブル対策



継続的なTCC管理と「10年超」の長期使用例



継続的なTCCケアが生む実績

10年以上継続

当院では継続的なTCC管理と患者指導を行い、10年以上にわたりカテーテルを抜去せずに維持されている患者さんが存在します。



最長患者：10年10か月
血栓性閉塞なし
血栓除去経路変更過去5回

04. 透析におけるACP

ACPとは？

ACPとは、アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning）の略称で、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、ご家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

ACPについて国民の皆さまにもっと知っていただくために愛称を公募。
愛称選定委員会による選定の結果、2018年11月に、応募総数1,073件の中から「人生会議」に決まりました。

厚生労働省では、**11月30日を「人生会議の日」**として、ACPや人生の最終段階における医療・ケアを考え、周りの人と話し合うきっかけの日となるよう、さまざまな施策を実施しています。

出典：厚生労働省



事例

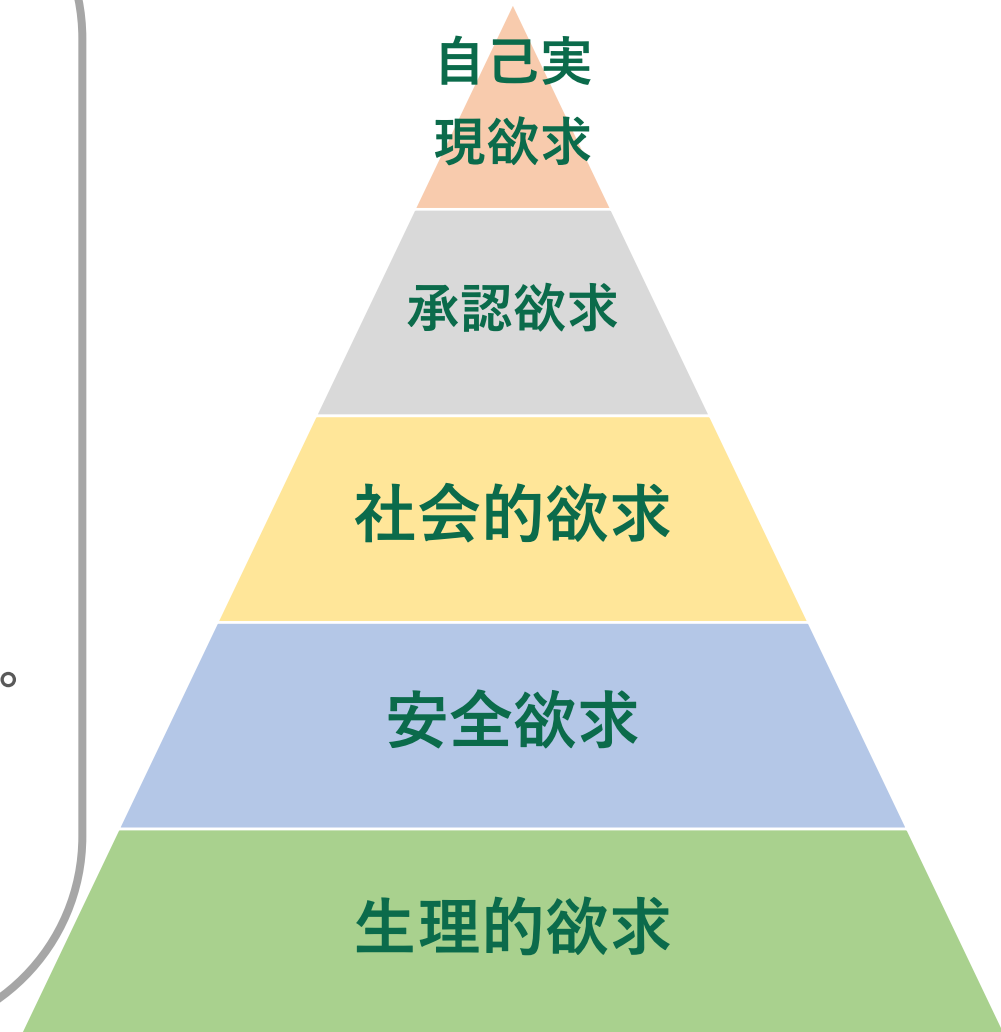
背景・経過

- ・ 40歳代女性/透析歴8年（MPO-ANCA関連腎炎）
- ・ 家族：夫、子2人（高1、中1）の4人暮らし、専業主婦
- ・ 在宅CAPD→当院でカフ型カテーテル在宅透析→感染→左前腕AVF作成し通院透析へ。
- ・ 献腎移植登録済

患者の思い

「通院になり睡眠がとれた、娘と夜一緒に過ごせて嬉しい。
でも将来は家事と子育てを両立し、また在宅に戻りたい」
「在宅で透析行うには自己穿刺が必要。穿刺に恐怖はない。」
「血管が発達するのに時間を要す事は理解している。」

覚えていますか？
マズローの基本的欲求



4 0 代女性－母親としての役割と生活を守るACP

看護師の具体的関わり・ACP関与

- ・ **マズロー基本的欲求の充足**：妻・母親としての「社会的役割・所属欲求」を尊重。
- ・ **自己穿刺への不安軽減**：将来の在宅復帰を見据え、血管成長の時間をスタッフ、本人と共有しながら肯定的に支援。
- ・ **リアルな現状受容への寄り添い**：通院透析のメリット（夜の家族時間・睡眠確保）を共有しつつ、献腎移植登録待機も含めた長期ビジョンをチームで共有。

当院の治療方針

心と信

- 常に最新の腎臓病治療の提供を目指します。
- 治療を受ける側の立場に立った治療方針の情報提供を目指します。
- 治療成績の正確な開示による、安心の医療を目指します。
- チームワーク医療による快適で安全な医療を目指します。
- 最新の設備により、充実した医療環境を目指します。

